

第 33 回
ジュニア知事さん
入選作品集



令和7(2025)年度

とちぎの未来をつくる皆さん

小学校四・五・六年生の皆さんから、「もし私が知事になったら、こんなことをしてみたい」というテーマで作文を募集したところ、七十七名の皆さんから応募をいただきました。本当にありがとうございました。

栃木県の魅力をたくさんの人知ってもらうための提案をまとめた作品もあれば、暮らしの中で気付いた身の回りの課題を題材にした作品もあり、内容はさまざまですが、どの作品にも共通しているのは、「ふるさと“とちぎ”をより良くしたい」というまっすぐな想いです。皆さん一人ひとりが、栃木県の将来について真剣に考えてくださっていることを、心からうれしく、また頼もしく感じています。

未来の栃木県をつくる皆さんにお願いです。これから、ふるさとを大切に思う気持ちを忘れず、たくさんの方の学び、色々なことにチャレンジしてください。そして、ともに力を合わせ、未来に希望を抱き、ふるさとに誇りを持てる栃木県を築いていきましょう。

令和七年十二月十一日

栃木県知事 福田 富一

もくじ

四年生

世界中と宇宙をつなぐ空港

日本一きれいな県へ

「知る」から広がる栃木愛

きずなの木

「とちまるウォーターパーク」

ふるさと記念式典

五年生

とちぎっ子先生

とち木幸せ公園計画

だれにでものれるとちの実力ー

栃木の名産を広めたい

給食の食べ残しをリサイクルしたい

もやし県を広めるもやし館を作りたい

六年生

もっと明るい栃木に

楽しく、幸せに過ごすために

「栃木県をより知るために体験で学ぶ県政治」

栃木県の魅力

栃木の新しい名産物「とちおこめ」

那須塩原市立大山小学校

小山市立穂積小学校

矢板市立矢板小学校

茂木町立茂木小学校

さくら市立氏家小学校

鹿沼市立菊沢東小学校

宇都宮市立泉が丘小学校

小山市立絹義務教育学校

宇都宮市立上河内西小学校

那須塩原市立三島小学校

日光市立日光小学校

宇都宮市立平石中央小学校

大田原市立紫塚小学校

下野市立古山小学校

宇都宮市立瑞穂野北小学校

足利市立けやき小学校

下野市立緑小学校

稲田

岸

小口

高田

蓮見

和久

栗田

田上

田口

羽田

福地

吉田

大島

糸川

栗原

中山

光田

にこ

倅士朗

一花

絆奈

紅葉

幸学

祥平

六花

晃太郎

江里菜

七実

璃華

茉桜

真凜

叶羽

結華

創真

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

世界中と宇宙をつなぐ空港

那須塩原市立大山小学校 四年

稲田 いなだ
にこ

私が知事になれるなら、栃木県に空港を作りたいです。ふつうの空港ではありません。日本中を行き来できる国内空港、世界をつなぐ国際空港、そして宇宙に行ける宇宙空港を作りたいです。

ことで国内、海外、宇宙が平和につながっていくと思います。大人は宇宙や世界中の人とつながって研究や仕事、友達ができるようになります。

この空港ができたなら、日本や海外の人々、宇宙でくらす人や生命体との交流が生まれま

す。子供はみんなで遊んだり、いっしょに勉強したり、ごはんを食べて、それぞれの文化を知り仲良くなることができます。そうするようになるようにしたいです。

日本一きれいな県へ

小山市立穂積小学校 四年

岸きし 倅こうしろう士朗

森里川海プラごみゼロ宣言。これは栃木県が二〇一九年に宣言したものだ。これを守るために、オリオン通りのごみ拾いをしたり、中禅寺湖を清掃したりしているものの、まだまだごみは多い。

そこで僕が知事になったら、「リサイクル

この花火大会では原則プラごみを出さず、リユース食器の導入や分別エコステーションを設置する。また、プラごみが環境に及ぼしている被害について紹介するブースを設け、そこに県内で回収したプラごみで作ったアート作品を飾る。

花火プロジェクト」を実施、日本一きれいな県を目指す。具体的には、生分解性プラスチックを玉皮に用いた花火を打ち上げる。落ちた際に出るごみが自動的に分解される仕組みだ。

楽しみながら、ごみが役に立つ。この取組がSNSなどで広がり、多くの人の目に触れることでごみを減らすことにつながる。また、日本一きれいな栃木県のアピールになる。

「知る」から広がる栃木愛

矢板市立矢板小学校 四年

こぐち いちか
小口 一花

私が知事になったら「とちぎコンシエルジュ検定」をつくりたいです。

私は栃木県のことを調べていくうちに、「日光検定」のことを知りました。地域の歴史や文化を学びながら、日光をもっと好きになれる、とてもすばらしい取り組みだと思いました。

そこで、栃木県全体を対象にした検定があれば、もっと多くの人に栃木のみりよくを知ってもらえるきっかけになるかもしれないと

考えました。検定は子供も大人も誰でもオンラインで受験できるようにします。五級から

一級までの各級に合格すると認定証の他に記念品や栃木のおいしい特産物がもらえ、県内の名所をめぐる限定ツアーに無料で参加できます。一級合格者は、観光施設やタクシーなど、地元の仕事に活かせるしくみにしたいです。

栃木の良いところを知って、もっと好きになってもらえる未来をつくりたいです。

きずなの木

茂木町立茂木小学校 四年

たかだ
高田 絆奈
きずな

わたしが知事になったら、それぞれの市や町
の真ん中に「きずなの木」を植えたいです。
所の人など、感謝を伝えたい人にメッセージ

この木は、町のみんなで育てていく木です。
を書いて木につるします。このカードがふえ

春は花を見ながらお弁当を食べて、夏は木
の下で休んで、秋は落ち葉で焼きいもを作っ
す。また、学校や町内会で交代で木の世話を

てみんなで食べて、冬はイルミネーションを
光らせます。きせつごとにみんなで楽しめる
ようなイベントを開いてみんなが笑顔になれ
るようにしています。
の輪を広げていききたいと思います。

そしてこの木には「ありがとうカード」を

「とちまるウォーターパーク」

さくら市立氏家小学校 四年

蓮見 紅葉
はすみ くれは

私が知事になったら、「とちまるウォーターパーク」を作りたいです。このパークは、水ととちまる君をテーマにしたアトラクションや暑い夏でも熱中症を気にせずに遊べる室内プールがあります。そしてパーク内には、栃木県ならではの設備を作ります。

栃木県は海がないので、私達は海で遊ぶ時に気を付けることや津波のこわさをあまり知りません。最近では、大雨で川がはんらんしたり、車が水ぼつしてしまったりするなど身

の回りにも水の危険がたくさんあります。パークでは、水の事故を体験しながら学べる設備を作ります。海や川で自分の命を守るレッスンをして、安全に遊べる知識を身に付けることができるのです。また、家族で楽しみながら災害時の対応を学んだり、防災グッズを作ったりできるコーナーもあります。

日ごろから、水の楽しさとかわさを知って事故を減らし、悲しい思いをする人がいない県を目指していきたいです。

ふるさと記念式典

鹿沼市立菊沢東小学校 四年

和久 幸学
わく ゆきまな

僕が知事になってやりたいことは、みんながいつまでも故郷を大切に思い、つながり続けられるように、ほかの都道府県にない取組をすることです。具体的には成人式のような記念式典を二十歳だけでなく、四十歳、六十歳、八十歳の節目にも開きます。成人式後は、多くの人が仕事や生活のために地元を離れ、なかなかもどらなくなります。そこで「ふるさと記念式典」を作りみんなが再び集まるきっかけを行政が用意します。

式典では、市長や町長のお祝いの言葉、地元で活躍する人の紹介、そしてケーブルテレビと協力して、幼稚園、保育園、小学校や高校の行事映像や当時のローカル番組を上映します。懐かしい映像とともに、地元ですごした日々、仲間たち、また戻りたいという気持ち、または遠くからでもふるさとと関わりたいという気持ちが生まれ、何歳になってもふるさととちぎと関わる仕組みを作りたいです。

とちぎっ子先生

宇都宮市立泉が丘小学校 五年

栗田 祥平
くりた しやうへい

ぼくが知事になったら「とちぎっ子先生」

で配られ、どの授業に参加して学びたいか自

という活動を各学校でしてみたいです。

由に決めることができます。

この活動では、丸一日、先生はフォロー役

先生となる子供は、教えることで理解を深

にまわります。そして得意な分野をもってい

めることができ、先生の苦労も分かると思い

る子供が先生になるのです。自分が得意な分

ます。人に伝える力も身に付けられます。

野について、子供が先生になり、それを学び

ぼくは、この活動によって「教え合い・学

たい子に授業として教えます。授業で使うス

び合えるとちぎっ子」を目指したいです。

ライドなども全て子供が作ります。

そして、その「とちぎっ子」たちが、将来

どんな授業をやるのか、先生となる子供が

に明るい希望をもてる、そんな県にしたいで

自由に考えます。どの教室で何をやるのか紙

す。

とち木幸せ公園計画

小山市立絹義務教育学校 五年

たがみ
田上
りつか
六花

わたしが知事になったら「とち木幸せ公園」たいです。さらに、ごみをもやす熱エネルギーを作りたいです。理由は、近年地球温暖化ーを利用して温かい水を作り、公園の遊具やが進み、公園の遊具が熱くなり、遊びにくくベンチに流して冬でも温かく遊べます。なっているからです。また、地いきの人とも温だん化対さくとして、公園の周りに、木交流を深められると思ったからです。や花をたくさん植えて、緑のカーテンを作り

公園の内容は、赤ちゃんから高い者までたいです。公園をきれいにたもつために外に楽しめる遊具があります。昔ながらのお手玉バスケットゴール風のゴミ箱を置きます。や竹とんぼ、わりばし鉄ぼうなどを教えてもこのような公園が実ざいしたら、だれでもらえるスペースがあります。わたしは工作がかい適に楽しめると思っています。これからとち大好きなので、工作ができるスペースも作り木の明るい未来を作っていきたいです。

だれにでものれるとちの実カー

宇都宮市立上河内西小学校 五年

たぐち

田口

晃太郎

栃木県は、交通の便が悪く車に乗れないと不便です。僕は未来の県知事になったら、とちの実カーを開発し県民にあげたいです。

とちの実カーは、子供や高齢者でも免許がなくても乗れます。エーアイを搭載していて行きたいところを設定すると連れていってく

れます。形は丸、大きさはコンパクトでも四人乗れます。燃料は栃の実で、無料です。

僕の祖母は、視力がたりなくて車に乗れません。足も痛いので長い時間歩けません。い

つも申し訳なさそうに運転を頼みます。そこ

で、とちの実カーがあれば、誰かに頼まなくてもいつでも好きな時に好きな場所に出かけ

ることができます。とても、楽しくなるし、生活も楽になると思います。僕もいつでも祖母に会いに行けてうれしいです。

栃木の緑を残しながら交通も便利になります。出かける機会が増えれば、町がにぎやかになり笑顔も増えます。ぼくは、自然豊かで楽しく活力のある「栃木県」にしたいです。

栃木の名産を広めたい

那須塩原市立三島小学校 五年

羽田 はねだ 江里菜 えりな

毎年夏休みは、大田原の祖父母の家に農業の手伝いに行っています。グリーンアスパラガスを作っていて、毎日収穫して、出荷しているのです。とてもおいしいアスパラガスで大好きです。よく見るとアスパラガスのテープに「那須の高原アスパラ」と書いてありました。栃木のブランドだとすぐ分かるすてきなブランド名だと感じました。

栃木の他の名産品のブランド名も気になって調べました。とちおとめやとちあいか、に

っこり梨ににらねっこなどたくさんありました。どのブランド名も最高です。私が知事になったらこれらのブランドをどんどん日本中に、いや世界中に広めたいです。

もっと調べていくと、まだブランド名がついていない栃木の名産品もあることに気が付きました。それは生産量が一位のかんぴょうでした。かんぴょうにもブランド名を付けて発信しなければいけないと思いました。栃木の全ての名産品を広めるのが私の夢です。

給食の食べ残しをリサイクルしたい

日光市立日光小学校 五年

福地 ふくち
七実 ななみ

わたしは、学校の給食の食べ残しがいつも多いことに胸が痛みます。食べ物を残すことは、とてももったいないことだと思います。

また、その処分するお金や環境に与えるえいきょうも心配です。しかしその一方で、学校では少食の子がいたり、多くの子が苦手なメニューがあったりして、給食がある程度残ってしまいう事も仕方がないと思います。

そこで、わたしが知事になったら給食の食べ残しをたい肥化して、リサイクルする事業

を提案します。たい肥化した肥料は、県内の農家の方に使ってもらいます。そして再び、おいしい野菜や果物ができるシステムを作りたいです。また、学校に畑を作り、リサイクルした肥料を使って野菜を作れば、子どもたちの学習にもなります。

食べ残しをたい肥化する「食のリサイクルシステム」で、子どもたちに食べ物の大切さを考えてもらい、農業がさかんな栃木県のイメージをさらにアップさせていきたいです。

もやし県を広めるもやし館を作りたい

宇都宮市立平石中央小学校 五年

よしだ
吉田
りか
璃華

私が知事になったら、栃木県を「もやし県」そして、もやし県をアピールするためには、

として広めたいです。去年、私は小学校でももやしのご当地グルメやデザートを作る、ゆやしについてアンケートをとって児童・家のるキャラや歌を作る、ポスターやチラシやS人・先生に答えてもらったのですが、もやしの生産量が栃木県が一位ということを知ってNSでせん伝する、などのアイディアを集めることができました。

いる人はほとんどいませんでした。でも、もそのため、私はもやし県をアピールするやし生産量一位が栃木県でうれしいと思う人「もやし館」をつくりたいです。学んだり楽し八十六%、もやしが好きの人九十三%、もやしんだり交流したりしながら、栃木県民だけを週一回以上食べている人八十九%。もやでなく全国の人に、栃木県のもやしをもっとしを愛する県民がとても多かったです。身近なものに感じてもらいたいです。

もつと明るい栃木に

大田原市立紫塚小学校 六年

大島 おおしま
茉桜 まお

私の母は、仕事が終わった後、私たち姉弟三人をそれぞれ違う場所に迎えに行き、買い物をしたり、習い事の送迎をしたり、とても忙しそうです。

そこで、私が知事になったら、公園や使われていない学校の跡地を中心に、保育園や学童、高齢者施設、マルシェなどをまとめて作りたいです。保育園や学童を集約すれば、母

のように仕事終わりに何カ所も迎えに行かなくてよくなり、家族の時間を増やすことで子

育てがしやすい県になると考えました。そこに高齢者施設もあれば、子どもたちと交流すること、高齢者が元気になったり、昔の遊びを教えてくれたりすると思います。マルシェでは、栃木自慢の野菜や果物、牛乳などを売ることで、食材の買い物をしやすくなり、農家の応援をすることもでき、県が活性化されるはずです。

私は、みんながつながること、より明るい栃木を作りたいです。

楽しく、幸せに過ごすために

下野市立古山小学校 六年

くめかわ
糸川 真凜 みり

今年の夏は猛暑続きで、昼間は外で遊ぶことが出来ませんでした。涼しい所で過ごしたので、図書館へ行ったり、シヨッピンモールに出かけたりしましたが、私は運動が好きなので、本当は走ったり、キャッチボールやテニスをしたりたいと思いました。

そこで、私が知事になったら、各市町に季節を問わず、快適に過ごせる屋内型のコミュニティセンターを作ります。そこでは、赤ちゃんからお年寄りまで、どの世代でも楽しむ

ことができます。例えば、赤ちゃんでも遊べる遊具のある部屋や、子供たちが運動の出来る体育館のような部屋、お年寄りがグラウンドゴルフを楽しめるような人工芝の部屋などがあります。もちろん、静かに過ごしたい人のために図書館のような部屋もあります。

もし災害があつた場合には、そのコミュニティセンターを避難場所として活用します。県民みんなが楽しく、幸せに過ごせる栃木県にしたいです。

「栃木県をより知るために体験で学ぶ県政治」

宇都宮市立瑞穂野北小学校 六年

栗原 叶羽 くりはら とわ

「百聞百見は一験にしかず」という心に響く言葉があります。僕が知事になったら「一験」を重視した知事になります。まず、「知事を知ろう、一験ツアー」を開催します。目的は知事の仕事内容を知ること、栃木の行政に興味を持ってもらうためです。ツアーの対象は小学六年生とします。これは、学校の授業で政治について学ぶ機会が多く、一番関心を持てるのではないかと思うからです。ツアーでは実際に県庁へ行き、現知事とテーマを決めて議会で話し合いをします。例えば、

「こんな施設があればいいな。」や、「必要だと思いう施設をなくし、他にお金を使おう。」など子供ならではの意見のやり取りを通して政治に興味を持ってもらいます。

こうした体験をすることで、得た気づきや学び、感情を大切にし、自分の財産にしてもらいたいです。それこそが未来への投資になります。「自分の県をよく知る小学生」が沢山いる栃木県。未来が期待できます。

栃木県の魅力

足利市立けやき小学校 六年

なかやま ゆいか
中山 結華

皆さんは、栃木県が好きですか。栃木県には、たくさんの自慢できるものがあることを知っていますか。

私は、今までに県内の多くの場所へ行き、子ども観光大使になれるように学んできました。私の住んでいる足利市の魅力は、日本最古の足利学校と奇蹟の大藤で有名なフラワーパークです。しかし、県北のことは教科書で見ることはありません、実際に行ったり、深く知ったりすることなく、魅力に気付いています。

せんでした。自分の知らない栃木県のことを知る機会がもっと増えたらいいと思いました。そこで私は、一定期間、その地域で生活し地域のことを学ぶ県内留学を提案したいです。知識だけではなく、体験することで、より栃木県を好きになると思います。友達も増えるでしょう。自分の住んでいる地域以外の魅力を深く知り、体験することで、自信を持って、「私は、栃木県が大好きです。」と、たくさんの人が言える未来にしたいです。

栃木の新しい名産物「とちおこめ」

下野市立緑小学校 六年

光田 みつだ
創真 そうま

他県に住む祖父母に会いに行くときに、イチゴをお土産に持っていくことがあります。すごく美味しいと喜んでくれるのでぼくもうれしくなります。栃木県の名産物としてイチゴは全国的に有名です。ぼくが栃木県知事になったら栃木県の良さをより知ってもらうために、新しい名産物の取組をしたいです。

食べた栃木県産のお米がとても美味しく、栃木県のイチゴと合うのではと思いました。きれいなうすいピンク色で、口に入れると美味しいお米の味と一緒にほのかなイチゴの香りがします。お祝いの時にも彩りもよく赤飯のように重宝されると思います。また、米粉としてパンやケーキにも使いたいです。

ぼくが今考えているのは、栃木県の高いイチゴ生産技術を生かしてイチゴとお米を組み合わせた「とちおこめ」です。ぼくが学校で感じてもらいたいです。

「とちおこめ」を全国みなさんが食べるたびに幸せな気持ちになり、栃木県の良さを

令和七年度「ジュニア知事さん」には、

県内の小学校四・五・六年生のみなさんから、

七一七点（四年生一八九点、五年生二一五点、

六年生三二三点）の応募がありました。

なお、知事賞の選考にあたりましては、下記の

方々に選考委員として御協力いただきました。

選 考 委 員

（敬称略）

栃木県おもちゃ図書館連絡会 会長

おやまおもちゃの図書館 館長 前田 春枝

栃木県小学校教育研究会 国語部会長

宇都宮市立横川東小学校 校長 五十嵐 市郎

栃木子どもの本連絡会 会長 長岡 広江

文星芸術大学 名誉教授 林 香君

栃木県子ども総合科学館 館長 神山 正幸



発行 栃木県総合政策部広報課

〒320-8501

栃木県宇都宮市塙田1-1-20

TEL : 028-623-2158